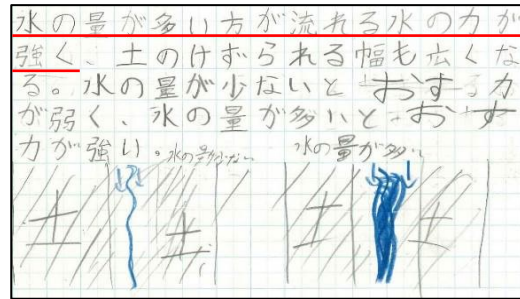


理科教育助成を受けている学校・団体の実践を紹介します。

### ◆ 2019年度助成校・団体の活動紹介

#### 神奈川県 三浦市立旭小学校



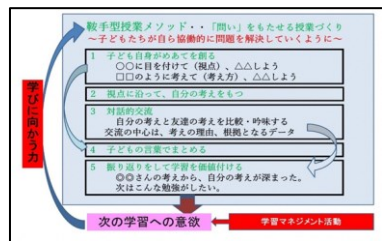
5年生理科「流れる水のはたらきと土地の変化」の授業で、水量が異なる同じ川の写真を比べて気付いたことを、ペア→グループ→学級全体で共有した。その後、流水実験を行い、グループごとに映像で記録し、その実験の画像に児童の気づきなどを記入することで児童の見方や考えなどを共有した。(写真左) グループの気づきや個人の考えなどの交流を行い、個人で実験についての考察をノートにまとめた。(写真右) この一連の実験・観察・気づきや考え等の交流・まとめの中で、流れる水の速さや量に着目して、土地の変化・河原の石の大きさや形・川や河原の様子と関連付けて考える活動を行った。

#### 福岡県 北九州市立広徳小学校



6年生理科「私たちの生活と電気」の授業の様子。まず、一人一台のビートルーサーを使い、ライトレースを体験させた。線を読み取ってきちんと動いていくおもしろさを味わった子どもたちは、自分でもプログラミングしてみたいと、意欲的に学習に取り組み始めた。実態調査では、プログラミングに対して苦手意識をもっている児童が多かったことから、一番基本となるプログラムの作り方が全員できているか、一人ひとり確認しながら学習を進めていった。学習の最後に自由な試行時間を与えると、どの児童も熱中してより難しいコースにチャレンジする姿が見られた。授業後の休み時間も粘り強く試行錯誤する児童や、一番複雑なコースを見事クリアする児童も現れた。プログラムを完成させることなく、どうしたらいいか考えるということ意識させたことで、思った通りに動かないところで、友達とプログラムを見合い、議論してはまた試すというプログラミング的思考を体験させることができた。

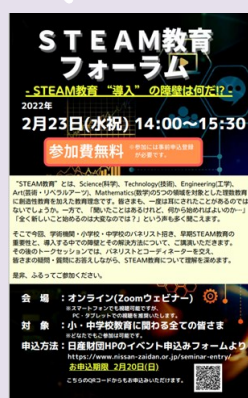
#### 福岡県 鞍手町立鞍手中学校



鞍手中学校では、コロナ渦でも子どもの学びを止めず、「自然や科学を自らのこととして捉えることのできる生徒の育成」を目指し、「ICTを活用した学習コンテンツ作りによる学習の振り返り活動」を実施している。本校では本年度から、すべての授業で「鞍手型授業メソッド」(写真左)という定式化した「学習の型」を定め、「問い」を持たせることで、主体的に学びに向かう態度の育成に努めている。そこで、「鞍手型授業メソッド」の活動5「学習の振り返り」の場面にICTを活用した学習コンテンツ作りを位置付け、写真や動画、テキストや音声を活用しながら、学んだ内容のまとめや振り返りをiPadで短編の動画コンテンツとして仕上げる活動を仕組むこととした(写真中)。作成したコンテンツは授業の中で提示し、クラス内で内容を共有するとともに意見交流を行った(写真右)。この活動を通して、学習内容を自分なりに吟味しながら価値付け、科学を自らのこととして捉えさせることができると考えている。

開催報告

オンラインイベント STEAM教育フォーラム



**STEAM教育フォーラム**  
-STEAM教育“導入”の障壁は何だ!?-  
2022年  
2月23日(水祝) 14:00~15:30  
参加費無料

**パネリスト**

**大島 まり**  
東北大学大学院教育学部 東北大学教育学部 教授  
東北大学大学院教育学部 東北大学教育学部 准教授  
東北大学教育学部 東北大学教育学部 准教授

**神先 明日・梅下 博道**  
東北大学大学院教育学部 東北大学教育学部 教授  
東北大学教育学部 東北大学教育学部 准教授

**池田 勝利**  
東北大学大学院教育学部 東北大学教育学部 教授  
東北大学教育学部 東北大学教育学部 准教授

**コーディネーター**

**船橋 直**  
公益財団法人日産財団 理事  
公益財団法人日産財団 理事  
公益財団法人日産財団 理事

**牧澤 達**  
公益財団法人日産財団 理事  
公益財団法人日産財団 理事  
公益財団法人日産財団 理事

**会場** : オンライン(Zoomウェビナー)  
**対象** : 小・中学校教育に関わる全ての方  
**申込方法** : 日産財団HPのイベント申込フォームより  
<https://www.nissan-zaidan.or.jp/seminar-entry/>  
公開申込期間 2月20日(日)  
2月21日(月) 10:00~15:00  
2月22日(火) 10:00~15:00

2月23日(水・祝)Zoomウェビナーにて『STEAM教育“導入”の障壁は何だ!?』を開催しました。

STEAM教育の重要性と、導入する際の障壁とその解決法をテーマに、学術機関・小中学校に所属するパネリストに講演していただき、議論と理解を深めました。

当日の内容詳細につきましては、右下のQRコード又は日産財団ホームページTopの『Information』にてご覧いただけます。

